

東近江市愛東ボランティアガイド協会

代表者 有馬殿 為次

所在地 〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町 10番5 号

設立年月日 1998年4月1日

URL <http://www.city.higashiomi.shiga.jp/>

【設立趣旨】

東近江市は、旧八日市市、愛東町、湖東町、永源寺町、五箇荘町、能登川町、蒲生町が合併してきた街で、文字通り滋賀県の東部に位置し、琵琶湖から鈴鹿の霊峰まで非常に広い面積を有しています。私達、東近江市愛東ボランティアガイド協会は、東近江市の愛東地域にある国史跡百済寺を中心にPRを行っています。百済寺は、今では湖東三山（西明寺、金剛輪寺、百済寺）の一つで紅葉の名所として有名ですが、信長の焼き討ちや江戸期の復興など歴史的にも数奇な運命を辿った寺院で、寺院遺跡などから過去を物語るものが多く保存されています。私達は、単に観光スポットとしての百済寺だけでなく、こうした歴史の変遷や過去を物語る物を来寺して下さった方に紹介し、郷土の歴史文化の継承にも力を入れています。現在8名の会員がおり、主に歴史好きの愛東地域に在住のかたで構成されており、役員は、会長1名、副会長1名、会計1名の3名が役員となっています。

【沿革】

活動の中心となる百済寺は、今から1400年以上前聖徳太子により建立された古刹で、平安期に天台宗の寺院となり、鎌倉期には湖東の小叡山とよばれる程大きな寺院でした。また、最盛期には1000坊以上の塔頭寺院を抱える広大な領土を有しており、宣教師【ルイス・フロイス】によれば、地上の楽園と評されています。広大な領土を抱えた上、また地元守護職の佐々木六角氏が反織田信長勢力であったため、信長軍の侵攻を受け悉く焼き討ちにあっておりますが、その後江戸期（徳川家光代）に再興され現在に至っております。近年、紅葉の名所湖東三山のひとつに数えられ、多くの観光客が来寺されますが、平成16年度には本堂が国の重要文化財に指定され、昨年は国の史跡に指定され、私達の活動にも力が入ります。

【活動目的】

年間百済寺を訪問される観光客は、日本全国から10万人程度となっており、最近では韓国など海外からの観光客も増加しています。県内でも有数の紅葉の名所となっており、観光客の大半が紅葉の時期に来られますが、多くの方が百済寺の数奇な歴史や過去を物語る遺跡のことを知らずにお帰りになられています。私達の活動の目的は、一人でも多くの方に百済寺を取り巻く郷土史と過去を物語る遺跡について知っていただくことです。年間私達がガイドとして紹介する観光客の方は、300名から500名程度です。また、地元の郷土史の愛好家で作る【愛史会】や百済寺からも様々な情報提供をいただき、PR活動に力を入れています。更に、年1回地元中学校の課外授業や幼稚園の遠足でも、私達ボランティアが百済寺の案内をしており、次世代を担う子供たちにも地元の貴重な宝の大切さを知ってもらい、その活動を継承してもらえる様な活動を続けていければと考えています。また、平成18年度は百済寺で、昭和26年以来となる本尊の十一面観音の御開帳があり、多くの参拝者の方がこれら私達の活動にも力が入りました。



【活動内容】

百済寺とその歴史に関心を持ち、その文化財資源の研究と継承により観光や地域の活性化を図り、多くの人にPR活動をおこなうことで郷土愛の増進と個性豊かな街づくりに貢献することを目的とします。

①国史跡百済寺の歴史の再発見および観光客へのPR活動



- ②地元学生等への国史跡の紹介と郷土史の紹介
- ③地元直売館（あいとうマーガレットステーション）との連携
- ④他地区のボランティアガイドとの交流
- ⑤湖東三山シャトルバスに乗りしての案内（秋のみ）

【活動上の課題と今後の展望】

設立以降、百済寺のPR活動に力を入れてきましたが、近年観光バスによる湖東三山めぐりが人気を集め西明寺や金剛輪寺の紹介を同時にしてほしいという依頼が殺到しています。西明寺や金剛輪寺は、他の自治体になり、地元の甲良町と愛荘町のボランティアガイドが案内されています。今後は、甲良町と愛荘町のガイドと交流を深め、こうしたお客様へのニーズに対応できるようにしていきたいと考えています。

百済寺が国史跡に指定されたことにより、今後計画的に史跡の整備がされていくと思いますが、新たな観光スポットの掘り起こしが可能となり、百済寺の数奇な歴史や過去を物語る遺跡について紹介できる機会が増えるものと期待しています。

